

エコアクション21環境経営レポート



令和7年2月1日～令和8年1月31日
作成日 令和8年4月15日

有限会社 塩野谷鉄工所

目次

- 1 組織の概要（事業者名、所在地、事業の概要、事業規模など）
- 2 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
- 3 環境経営方針
- 4 環境経営目標
- 5 環境経営計画
- 6 環境経営目標に対する実績・結果
- 7 環境経営計画の結果と評価、並びに次年度の取組計画及び目標
- 8 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無
- 9 代表者による全体の評価と見直し・指示

1 組織の概要①

事業所名	有限会社 塩野谷鉄工所		
代表者名	代表取締役社長 塩野谷正勝		
所在地	〒441-0152		
	愛知県豊橋市前芝町西堤68-1		
設立	1962年	資本金	300万円
従業員数	11名	売上高	82百万円（2025年度）
床面積	596m ²		
事業内容	自動車部品の小物精密加工		
環境管理責任者・担当者 連絡先	大島 望 TEL (0532) 31-0107 FAX (0532) 31-5319		

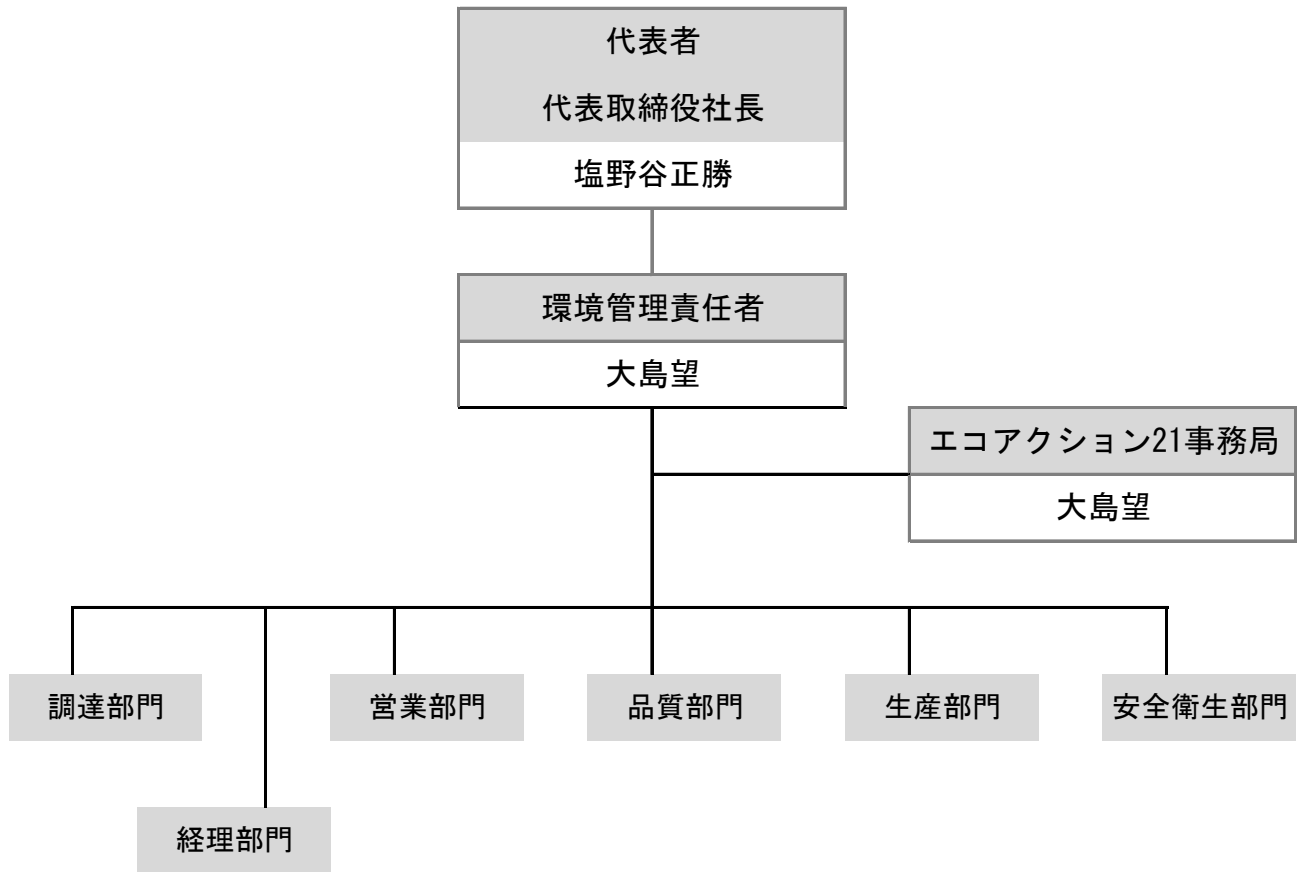
1 組織の概要②

作成日：令和7年2月1日

作成者：大島 望

承認者：塩野谷正勝

実施体制



役割分担

代表者 (塩野谷正勝)	<ul style="list-style-type: none">環境経営方針の作成環境管理責任者の任命、資源の準備（人員・設備・費用等）全体の評価と見直し、環境経営レポートの承認、公表
環境管理責任者 (大島 望)	<ul style="list-style-type: none">環境経営システムを構築・運用・維持しその状況を代表者に報告する環境活動レポートの作成。外部からの苦情等の受付と必要な対応及び結果の記録
事務局（大島 望）	<ul style="list-style-type: none">会社の方針、部門の目標・計画に従って実行する。
従業員	<ul style="list-style-type: none">会社の方針、部門の目標・計画に従って実行する。

2 対象範囲

認証登録範囲	有限会社 塩野谷鉄工所 住所 愛知県豊橋市前芝町西堤68-1 本社・工場 全組織・全活動	
事業活動	自動車部品の小物精密加工	
認証登録	認証登録番号：0005035	認証登録日：2010年6月9日
環境レポート 対象期間	令和7年2月～令和8年1月	
発行日	2026年4月15日	

3 環境経営方針

経営方針

有限会社 塩野谷鉄工所は事業活動である自動車部品の小物精密加工を通じ、環境負荷の低減、資源の有効活用等に自主的、積極的に取り組み、地域社会に貢献することに努めます。

行動指針

- (1) 当社に適用される環境関連法令、規則および、当社が同意する環境に関連する要求事項を遵守します。
- (2) 次の事項について具体的な環境目標、環境活動計画を定め実施します。
 - ① 二酸化炭素排出量削減の為、当社の事業活動において省エネルギーに取り組みます。
 - ② 廃棄物排出量削減の為、分別の徹底・リサイクル推進に取り組みます。
 - ③ 総排水量の削減の為、節水に取り組みます。
 - ④ 社会貢献活動を積極的に行います。
 - ⑤ 環境負荷低減の為、事業活動の効率化に取り組み、環境にやさしい工程を考えます
- (3) 本方針を全社員に周知徹底し、環境経営システムの継続的改善を全員で取り組みます。

制定：平成24年2月1日 改定：平成30年2月1日

有限会社塩野谷鉄工所 代表取締役社長 塩野谷 正勝

4 環境経営目標

作成日：令和7年2月1日

令和6年度から令和9年度までの目標。年度は2月～翌年1月。

作成者：大島 望

基準令和6年度の年間総生産個数119万個。

承認者：塩野谷正勝

目標値の数値は一部再確認し整合性を取った。

環境方針	取り組み項目	目標種別	単位	基準年度	年度目標		
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
				基準	-1%	-2%	-3%
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素総排出量の削減	総量	kg-CO ₂	109,253	108,160	107,079	106,008
		原単位	kg-CO ₂ /1万個	918	909	900	891
	電力使用量の削減	総量	kWh	250,976	248,466	245,982	243,522
		原単位	kWh/1万個	2,109	2,088	2,067	2,046
	ガソリン使用量の削減	総量	ℓ	2,983	2,953	2,924	2,894
		原単位	ℓ/1万個	25.1	25	25	24
灯油使用量の削減（暖房用）	総量	ℓ	1,988	1,968	1,948	1,929	
	原単位	ℓ/1万個	16.71	16.54	16.37	16.21	
LPG使用量の削減	総量	kg	0.10	0.10	0.10	0.10	
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	総量	kg	163.0	161.4	159.8	158.2
		原単位	kg/1万個	1.37	1.36	1.34	1.33
	プラスチックゴミの削減	総量	kg	205	203	201	199
		原単位	kg/1万個	1.72	1.71	1.69	1.67
化学物質の削減	洗浄油の削減（洗浄用灯油）	総量	ℓ	1,180	1,168	1,157	1,145
		原単位	ℓ/1万個	9.92	9.82	9.72	9.62
排水量の削減	地下水使用量の削減	総量	m ³	175	173	172	170
		原単位	m ³ /1万個	1.47	1.46	1.44	1.43
環境方針	取り組み項目	目標種別	単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
				基準	1%	2%	3%
社会貢献活動の推進	ベルマークの回収	総量	点数/年	119	120.2	121.4	122.6
	アルミ缶回収	総量	個/年	97	98	99	100
	インクジェット使用済み容器回収	総量	回/年	13	14	15	16
	工場周辺の清掃活動	総量	回/年	12	12	12	12
	247号線清掃	総量	回/年	3	3	3	3
事業活動の効率化	作業改善	総量	件/年	22	23	24	25

電力の二酸化炭素排出係数は中部電力の2021年度（令和3年）調整後係数0.388kg-CO₂/kWhにて算出。

産業廃棄物の削減対象はプラスチックごみ。

切削金属くずは有価物で売却、分別回収に努め実績数値は把握するが削減目標には含めない。

5 環境経営計画 2025年度

作成日：令和7年2月1日

作成者：大島 望

承認者：塩野谷正勝

環境方針	環境目標	具体的な取り組み内容	日程	点検 方法	担当者
二酸化炭素の排出量削減	電力の使用量の削減 (基準年度比1%削減)	①冷暖房機の温度設定を適正化	通年	チェックシート	大島
		②冷暖房機のフィルターを掃除 1回/3か月	1回/3か月	チェックシート	
		③作業場を離れる時は設備スイッチOFF、電気消灯の徹底を図る。	通年	巡回	
	暖房用灯油の使用量削減	①外気温13℃以上はストーブを消す。	通年	消灯	大島
	LPGの使用量削減 (基準年度比1%削減)	①手洗い用ボイラー外気温13℃以上は使用しない。	通年	—	大島
	ガソリン使用量の削減 (基準年度比1%削減)	①エコドライブの推進。呼びかけ。	通年	—	
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の排出量削減	①新聞使用量削減、再利用。	通年	集計表	大島
		②一般ゴミの分別徹底。	通年		
		③紙ゴミの持ち帰り徹底。	通年		
		④ウエスを洗濯し繰り返し使う。	1回/3日	—	塩野谷
		⑤仕入れ品の簡易梱包を推進。	通年		
	プラスチックゴミの排出量の削減	①不良率低減。不良品の限度見本掲示物作成。	通年	報告書	中瀬
②材料の歩留まり向上（残材の最小化）		通年	—	塩野谷	
③有価物、切削金属くず分別回収の強化		通年			
化学物質の削減	洗浄用灯油の削減	①使用量のチェック、適正使用量の追求	1回/1か月	集計表	大島
排水量の削減	水使用量の削減	①水使用量チェックシート記入。	1回/1か月	チェックシート	谷川
		②グラフによる水使用量の明確化。	通年	グラフ	
		③ウエスの削減による洗濯回数の削減。	通年	—	
社会貢献活動の推進	工場周辺清掃の実施	①工場周辺の清掃を1回/月行う。	1回/1か月	—	社員
		②247通りの清掃活動（1回/4か月）	1回/4か月		
	回収ボランティア活動の実施	①ベルマークを回収する。120.0点/年	通年		芳賀
		②アルミ缶を回収する。98個/年。	通年		
事業活動の効率化	作業改善	①作業改善により業務の効率化を図る。2件/月目標。	通年	—	全員

6 環境経営目標に対する実績・評価

作成日：令和8年4月13日

作成者：大島 望

令和6年度の年間総生産個数119万個。

承認者：塩野谷正勝

令和7年度の年間総生産個数71万個。

環境方針	取り組み項目	目標種別	単位	基準年度	年度目標		
				令和6年度	令和7年度目標	令和7年度実績	評価
				基準	-1%		
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素総排出量の削減	総量	kg-CO ₂	109,253	108,160	90,635	○
		原単位	kg-CO ₂ /1万個	918	909	1,277	×
	電力使用量の削減	総量	kWh	250,976	248,466	200,687	○
		原単位	kWh/1万個	2,109	2,088	2,827	×
	ガソリン使用量の削減	総量	ℓ	2,983	2,953	3,165	×
		原単位	ℓ/1万個	25.1	25	44.6	×
	灯油使用量の削減（暖房用）	総量	ℓ	1,988	1,968	2,177	×
		原単位	ℓ/1万個	16.71	16.54	30.66	×
	LPG使用量の削減	総量	kg	0.10	0.10	0.20	×
	廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	総量	kg	163.0	161.4	158.1
原単位			kg/1万個	1.37	1.36	2.23	×
プラスチックゴミの削減		総量	kg	205	203	203	○
		原単位	kg/1万個	1.72	1.71	2.86	×
化学物質の削減	洗浄用灯油の削減	総量	ℓ	1,180	1,168	769	○
		原単位	ℓ/1万個	9.92	9.82	10.83	×
排水量の削減	地下水使用量の削減	総量	m ³	175	173	181	×
		原単位	m ³ /1万個	1.47	1.46	2.55	×
環境方針	取り組み項目	目標種別	単位	令和6年度 基準	令和7年度目標 1%	令和7年度実績	評価
社会貢献活動の推進	ベルマークの回収	総量	点数/年	119	123.76	187.3	○
	アルミ缶回収	総量	個/年	97	98	761	○
	インクジェット使用済み容器回収	総量	回/年	13	14	16	○
	工場周辺の清掃活動	総量	回/年	12	12	12	○
	247号線清掃	総量	回/年	3	3	3	○
事業活動の効率化	作業改善	総量	件/年	22	23	23	○

電力の二酸化炭素排出係数は中部電力の2021年度（令和3年）調整後係数0.388kg-CO₂/kWhにて算出。

産業廃棄物の対象はプラスチックごみ。

切削金属くずは有価物で売却、分別回収に努め実績数値は把握するが削減目標には含めない。

7 環境経営計画の結果と評価、並びに次年度の取組計画

作成日：令和8年4月13日

作成者：大島 望

承認者：塩野谷正勝

原単位 単位は一万個とする

環境方針	環境目標	達成状況	取組結果に対するコメント	評価	次年度の取組計画
二酸化炭素の排出量削減	二酸化炭素の総排出量の削減（下記①～④）	目標：108,160kgCO2	目標に対して 実績で削減したが、原単位に於いては増加した	○	次年度においても生産が不安定な状況で目標を立てにくい が、継続して各個別案件ごとの削減目標達成を進める。
		目標原単位：909kgCO2		×	
		実績：90,635kgCO2			
		実績原単位：1,277kgCO2			
	①電力の使用量の削減（基準年度比1%削減）	目標：248,466kWh	取引先の減産の影響で、生産量が大幅に減少した。実績においては目標を達成したが、原単位に於いては大幅に増加した。	○	休日のコンプレッサー停止を継続し、機械稼働時間短縮の為、不良品の削減
		目標原単位：2,088kWh		×	
		実績：200,687kWh			
		実績原単位：2,827kWh			
	②ガソリン使用量の削減（基準年度比1%削減）	目標：2,953ℓ	今年度も車利用が増えたことにより、使用量が増加した	×	エコドライブや車の使用回数の削減など心がける。
		目標原単位：25ℓ		×	
		実績：3,165ℓ			
		実績原単位：44.6ℓ			
	③灯油の使用量削減（基準年度比1%削減）	目標：1,968ℓ	今年度は寒い日が増えたことにより、使用回数、使用時間が増えたため、使用量が大幅に増えた	×	管理を徹底し、維持継続する。
		目標原単位：16.54ℓ		×	
実績：2,177ℓ					
実績原単位：30.66ℓ					
④LPGの使用量削減（基準年度比1%削減）	目標：0.10kg	若干増えたが、ほぼ目標と変わらなかった	×	今後も取組を維持継続し、LPG使用ゼロを目標に取り組む。	
	実績：0.2kg				
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	目標161kg	生産の減少によってゴミも減ったが、来年度も継続して削減していく	○	今年度の削減計画を継続する。新聞ゴミに対してはウエスを代用し、段ボールの使用の削減、紙の再生を進める。
		目標原単位：1.36kg		×	
		実績：158.1kg			
		実績原単位：2.23kg			
	プラスチックゴミの削減	目標：203kg	実績において目標を達成した。分別回収を強化。混載廃棄物は業者によるごみ回収。切削金属くずは有価売却であり削減目標には含まない。	○	今年度の削減計画を継続する。梱包材とうの削減、ひもなどの再利用など検討
		目標原単位：1.71kg		×	
実績：203kg					
実績原単位：2.86kg					
化学物質の削減	洗浄用灯油の削減	目標：1,168ℓ	生産数が減ったことにより使用量も減った	○	生産量との関係もあるが最適使用量を検討。またPRTR物質フリーの洗浄液の検討も行う。
		目標原単位：9.82ℓ		×	
		実績：769ℓ			
		実績原単位：10.83ℓ			
排水量削減	地下水使用量の削減	目標：173m ³	ウエスの洗濯などにより、使用量が増えた	×	今後もウエスの洗濯量を減らすことにより、洗濯回数の削減により、水の使用量の削減に取り組む。
		目標原単位：1.46m ³		×	
		実績：181m ³			
		実績原単位：2.55m ³			
社会貢献活動	ベルマークの回収	目標123点、実績187点	すべての取り組みにおいて、目標を達成した。	○	活動の呼び掛けを掲示物などで行っていく
	アルミ缶回収	目標98個、実績761個		○	
	インクジェット使用済み容器回収	目標14個、実績16個		○	
	工場周辺の清掃活動	目標1回/月、実績12回/年		○	
	247号線の清掃活動	目標3回/年、実績3回		○	
事業活動の効率化		目標：23件/年 実績：23件/年	パートを含めた全員に意見を出してもらい、改善対策を行うことが出来た。	○	作業改善提案書の提出以外に、改善対策を早急に行う仕組みに変更

8 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

作成日：令和8年4月13日

作成・確認者：大島 望

承認者：塩野谷正勝

区分	関連法規制等		条項の内容と確認事項	適合状況
	法規制名	条項		
フロン	フロン排出抑制法	第16条	コンプレッサーのフロン漏洩に関する簡易点検、定期点検（7.5kw以上）の実施と記録	○
廃棄物	廃棄物処理法	第12条5	廃棄物の処理委託事業者との契約の締結	○
		県条例	廃棄物処理委託事業者の現地確認（年1回）	○
		第12条3	廃棄物の処理を委託する場合のマニフェスト伝票の発行と管理	○
		第12条3-6	毎年6月30日までに前年度に交付したマニフェスト伝票の交付状況を県に報告する（産業廃棄物管理票交付状況報告書、様式3）	○
騒音・振動	騒音規制法 振動規制法	第6条	特定施設の届出（空気圧縮機が対象）	○
水質	地下水の採取に関する 愛知県条例	第63条 第71条	対象施設の届出（吐出出口断面積6cm ² 以上） 地下水揚水量報告	○
	水質汚濁防止法	一	排出水の汚染状態の確認と排出基準の順守 事故時（油などの流出）の行政への届出	○
リサイクル	家電リサイクル法	第6条	テレビ、エアコン、電気冷蔵庫、電気洗濯機の廃棄物の排出時、収集・運搬または再商品化等をする者に引き渡し、必要な料金を支払う。	○
消防	消防法	市条例など	・少量危険物の貯蔵・取り扱い＝指定数量（第1石油類・ガソリンなど200L、第2石油類・軽油・灯油など1000L、第3石油類・重油など2000L、第4石油類・シリンダー油など4000L）の1/5未満～指定数量の保管に際しての届出と貯蔵所の管理（市の消防署へ届出）。	○
物化学	PRTR法（化管法）	第4条5条	切削液、潤滑油などのSDSの入手とPRTR物質の確認。	○
その他	アイドリングストップ	県条例	自動車を運転する者は、自動車を駐車するときは、原動機を停止（アイドリング・ストップ）しなければならない。また、事業者は、従業員に対しアイドリング・ストップをするよう指導しなければならない。	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されています（○）。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、ありませんでした。

9 代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者による全体の評価と見直し 2026年4月13日 塩野谷 正勝

◇環境目標の達成状況について

・取引先の減産の影響により、生産数が減少した。二酸化炭素排出量は減少したが、原単位においては全体に増えた

・個々の項目別の達成状況の詳細は6 環境経営目標に対する実績・評価に示す

◇環境活動計画及び取組について

・維持継続しながら、やり方などの見直しをすすめる

◇以下個別項目ごとの判断

- ・環境経営システム⇒有効に機能している
- ・環境への取組⇒適切である
- ・環境経営方針の変更⇒変更なし、継続
- ・環境目標の変更⇒目標値の整合性を見直し、令和6年度を基準とし目標値とした
- ・環境活動計画の変更⇒変更なし、継続
- ・実施体制の変更⇒変更なし、継続

◇環境管理責任者への指示

・今後の生産に対するエコ活動を随時見直し、柔軟に対応できるように取り組む

◇総評まとめ

・世界情勢による不確定な影響を受け、本来の業務である製造に対し、不透明な部分が多い。その中で変化に対応しながら、取り組んでいく。

有限会社 塩野谷鉄工所

本社

〒441-0152 愛知県豊橋市前芝町西堤68-1

TEL (0532) 31-0107 FAX (0532) 31-5319